



同友会の活動
はこちらの
QRコードから
ご覧いただけます。▶



3

2026年
月号

発行/群馬中小企業家同友会 〒371-0013 前橋市西片貝町1-300-5 ルアン第二ビル4F TEL 027-232-0001 FAX 027-232-0666 E-mail g-douyu@po.wind.ne.jp

半年間に及ぶ研修の集大成

第30期経営指針をつくる会・発表会



二月六日(金)、七日(土)の二日間、同友会事務所・会議室を会場に「第三〇期経営指針をつくる会・発表会」を開催。昨年八月からの約半年間、全六講に及ぶ研修の集大成として、参加者それぞれが学び合い、会社の将来と真剣に向き合いながらまとめ上げた「経営指針」が披露されました。

また、同友会の中心的な活動の一つである「経営指針の成文化と実践」を広く啓蒙するため、今期の発表会も例年どおり広く見学者を募集。経営指針に高い

関心を持つ方、来期の受講を前向きに考えている方など、県内全域から多数の見学者が駆けつけました。

発表・質疑応答・アドバイスを含めて一社概ね五〇分の持ち時間を使い、経営理念に込められた思い、今後の方向性を指し示す一〇年ビジョン・経営方針、数値・行動にまで落とし込んだ経営計画を発表していった参加者各社。企業を取り巻く経営環境は目まぐるしい変化の渦中にあります。絶対の良い会社にする」と

いう強い意志がヒシヒシと伝わる、中身の濃い経営指針の発表となりました。

九二日間、十二社が発表を行うハードスケジュールではありましたが、自社の発表時間だけでなく、他社の指針書や取り組みからも多くの学びが得られたことでしょう。「学ぶことはマเนอร์」と言われるように、他社の良い部分を参考にしつつ、さらなるブラッシュアップが期待されます。



参加者レポートには「連続参加によって経営指針の理解度や解像度が深まった。来期も皆さんを驚かせるような業績を残せるように精進したい」「参加を通じて自己資本比率が改善し、積極的な投資や経営者の仕事(脱プレイヤー)ができるようになってきた」「自社の進むべき方向が言葉として整理でき、つくって終わりではなく、行動して成果を出し、会社全体に広げていきたい」などが綴られています。

来期の「経営指針をつくる会」も今年度同様、夏からの開催が予定されています。詳細については決定次第ご案内いたします。ぜひご参加ください！

障害者雇用は組織の成熟度を映す鏡

中同協障害者問題委員会in群馬

一月二十二日(木)〜二十三日(金)、磯部ガーデンを会場に「第二回中同協障害者問題委員会(群馬)」が開催されました。

全国各地の同友会で障害者関連の委員長・役員を担う会員経営者を参加対象とし、開催地の群馬からは委員会メンバーも大勢参加。北は青森から南は大分まで、約五十名の参加者が学び合

いました。

冒頭、開催地を代表して、群馬同友会代表理事の町田氏が挨拶。全国から来県した参加者への感謝を述べるとともに「人を生かす経営を掲げる同友会として、障害者雇用は意義のある活動だと感じている。実践報告とグループ討論、さらに懇親会も含めて、生きた情報に触れる機会はとても重要」と語り、活発な委員会活動を歓迎しました。

報告後は「感想の共有と自社での取り組み」をテーマにグループ討論を行い、県を超えた活発な意見が飛び交いました。

会議後の懇親会では、各県から集まった参加者が自県の取り組みを紹介しつつ、会場自慢の料理とお酒を愉しみ、時間いっぱいまで懇親を深めました。

二日目は、NPO法人ソーシャルハウス(施設長・新井紳介氏/高崎支部)を見学。天候に左右されず、安定した作業を確保できる屋内施設での水耕栽培を行う野菜工場の見学と、同法人の施設概要報告が行われました。同社の水耕栽培のプラントは、グ



事例報告では、群馬同友会障害者雇用委員長の石原氏が「障害者雇用は組織の成熟度を映す鏡でした」と私の経営は、トップダウンからボトムアップ、そしてフラット経営へ」と題して、自社で障害者雇用を始めた経緯に加え、それに伴う経営姿勢の変化や組織変革の変遷を報告しました。



ループ企業の(株)成電工業(代表取締役・瀧澤啓氏/高崎支部)で設計・販売されており、相談から導入後の技術指導まで一括で請け負うことができる点も紹介されました。

軽量鉄骨システム建築 プレハブハウス

用途に合わせて自由設計、コスト削減(事務所、店舗、倉庫、他)

プレハブパネル工法は規格部材を工場生産 経済性に優れ、短工期

株式会社 三栄工業

〒378-0002 群馬県沼田市横塚町 896-2
TEL. 0278-20-1110 FAX. 0278-22-2102
URL <http://kk-sanei.net/>

5ビッグコンベンション

◎お気軽にご相談ください。他中小コンベンションも多数あります。

◎他県からも便利な磯部温泉 東京よりJRで1時間◎
会議⇒温泉⇒宴会⇒宿泊⇒会議

スクール形式 最大700名可能



TEL.027-385-0085

新島学園短期大学 学内企業研究会

共同求人委員会

一月二十八日(水)、新島学園短期大学において「学内企業研究会」が開催されました。同

大学と群馬同友会が締結した連携協定に基づいて企画されたもので、昨年度に続いて二回目。当日は共同求人委員会のメンバーを中心に会員企業十五社が参加し、全体での企業PRや個別ブースによる企業研究会が行

われました。主に今春から就職活動をスタートさせる一年生を対象に、

それぞれの業界や企業に対する知識・理解を深めることを目的に開催された本研究会。全体での事前説明・企業PRタイムでは、一社二分の持ち時間を使って業界の特長や自社の魅力などが紹介されたほか、大学・企業の双方から「自分の可能性を拓けるために、ぜひ多くの企業ブースを回ってほしい」と学生たちに語り掛けました。



個別ブースでの企業研究会は、一回あたり二五分×四回のプログラムで実施。参加各社がパンフレットや写真・動画、実際の商品・製品などを使って、自社の魅力や仕事内容、働き方などを細か



く説明し、学生からの率直な疑問・質問に真摯に回答していました。また、就職活動への不安に対しても、親身になって相談のついでに姿が印象的でした。今後、参加した学生の企業訪問(見学)が予定されています。今回の研究会をきっかけに、学生の就職活動、あるいは企業の採用活動が、より実りあるものに進展していくことが期待されます。

学生へのメッセージ

桐生みどり支部1月例会



一月二十八日(水)、桐生市職業訓練センターを会場に「桐生みどり支部1月例会」を開催。昨年九月から全十五回の日程で行われた「共愛学園前橋国際大学・企業人オムニバス講座」に登壇したランコントレ・長井氏、木村総合法律事務所・木村氏(いづれも桐生みどり支部)が「学生へのメッセージ」登壇者が語った仕事と人生とは「？」をテーマに報告しました。

長井氏・木村氏の両名は、学生に向けて話した内容を例会仕様にカスタマイズして報告。失敗や挫折を乗り越えてきた現在までの歩みをもとに、自身が大切にしている価値観や人生観、学生へのメッセージを語ったほか、同講座に登壇しての率直な感想や学生の反応(レポート)も一部紹介しました。その後は「若者に選ばれる企業づくりとは？」をテーマにグループ討論を実施。「社員のキャリアパスや将来像をしっかりと示す」「経営理念への共感と居場所づくり」「昭和世代との感覚のズレ。やるべきことは山積していると感じた」など、活発な意見が交わされました。

人も会社も育つ 「コミュニケーションの本質」

渋川吾妻支部／富岡安中支部1月例会

一月二十七日(火)、渋川吾妻支部1月例会を開催。いかほ秀水園(同支部所属)を会場に「1泊例会・新年会」として設営され、そこへ富岡安中支部が「支部間交流例会」として合流しました。

例会では「人も会社も育つコ

ミュニケーションの本質」なぜ信頼がなければ言葉は届かないのか？」をテーマに、ケルン(株)、取締役・乗附諒氏(富岡安中支部／会員登録は乗附社長)が報告。コミュニケーションが取れていない、相手に伝わらない理由を「問題は言葉ではなく、人間関係の土台にある」とし、そのメカニズムの説明と二つの体験ワークを行いました。また、信頼関係を築くコツとして「視点と視座を変える意識」を挙げ、「あなた(経営者)の視線が変われば組織が変わる」と語りました。



報告終了後は「信頼を築くためには何が必要か？」をテーマにグループ討論を実施。その後の新年会と合わせ、支部を超えた熱気溢れる意見交換や懇親が図られました。

これからの経営を話そう

高崎支部1月例会



一月三十日(金)、ビエント高崎を会場に「高崎支部1月例会」を開催。産業用生産設備の設計・製作などを手掛ける(株)石井工機、代表取締役・石井安美氏(高崎支部)が「これからの経営を話そう」をテーマに自身の経営体験を語りまし

た。二〇一五年、経営指針をつくる会への参加を通じて、自社の強みの源泉を「人の力」と定義し、「社員を大切にすることを社づくり」に取り組んできた石井氏。福利厚生や健康経営、キャリア開発など、数多の取り組みに触れつつ、それにより表れてきた成果を紹介しました。また、報告後半は一転、「前期は業績を

大きく下げた」とし、その要因分析や人材投資のリスク、働きやすさと働きがいの関係性などについて言及。最後に参加者に対して「人材投資に限らず、これからの経営に何が必要なのか? 考えて選択しなければ生き残れない」と訴え掛けました。報告終了後は「十年後の自社のために、今、何を大切にしますか?」をテーマにグループ討論を実施。「働きがいの先にある仕事の楽しさを伝える」「新規事業の安定化を図る」「希望や夢を考えられる人間集団をめざす」「経営理念の落とし込みと顧客からの信頼」など、活発な意見が交わされました。



新会員報告&新年会

前橋支部 1月例会



前橋支部では、一月二十一日(水)、アメijingグレイス前橋を会場に支部例会を開催。「自社の事業内容と今後の展望」と題して、新会員のサードブレイス・小淵裕子氏、(株)Progress・石井亮氏(いずれも前橋支部)が報告しました。

小淵氏は、獣医師としての経験をj経て、「ペットのグリーフケア」を展開しており、高度化する動物医療の現場で、獣医師、飼い主、病院スタッフの三者を繋ぎ「ハッピーなエンディング」

を迎えられる社会の実現を掲げました。

石井氏は、自身が運営するオファー型就活サイト「プロガイド」を紹介。学生を群馬に留めることを目的に掲げ、「学生は経営者の顔を見たがっている」と語り、地域の絆を活かしたゲリラ的なサイト運営で、大手求人媒体にはない価値を提供していく姿勢を示しました。

報告後は新年会を開催し、二人の報告者への感想や、今年目標などを交流し合いました。

新年を迎えての抱負

伊勢崎支部 1月例会

一月二十九日(木)、プラザ・アリアを会場に「伊勢崎支部1月例会(新年会)」を開催。「前年の振り返り&新年を迎えての抱負」をテーマに、参加各社の企業努力やチャレンジ、今後の経営戦略などの情報を皆で共有し合いました。

開会挨拶・乾杯に続き、美味しいお酒と食事を楽しみながら親睦を深めた参加者。会場が温まったところで「前年の振り返り&新年を迎えての抱負」を一

きに経営に取り組んでいく決意が伝わってきました。

その他、同友会や会員への感謝の言葉、絶対にはずさない鉄板ネタ、地元を元気にするイベントのPR、直前に控えた衆院選の話題、時間オーバーしても話し続ける強心臓ぶりなど、十人十色、参加者それぞれの個性が映える新年会となりました。

人三分を目安として全員に語ってもらいました。厳しい状況を表す言葉も多々あった反面、少しずつ光明が見えてきた近況や新分野・新事業への挑戦なども報告され、今年も前向



限りある資源を、次世代へ。

株式会社エスティビー
Zero Emission Stability Topline Business, Co., Ltd.

経営理念「**絶やさぬために**」
私たちは、経験・静脈の循環型物流力で、人と社会の生命活動を支え続けます。

住所 〒379-2123 群馬県前橋市山王町 1-19-14 連絡先 TEL : 027-212-3312

未来の仲間 に魅力が伝わる メッセージを

Que Project inc.

- ▶リクルーティングプランニング
- ▶デザインツール制作

合同会社キュー・プロジェクト <https://que-project.co.jp>

人事が採用時に重視すべきポイント

沼田支部1月例会

沼田支部では、一月二十三日(金)、利根沼田文化会館を会場に支部例会を開催。「人事が採用時に重視すべきポイント」とのテーマで、職場づくり支援、研修+キャリア面談などを行うBeing働き方Doing、代表・大石尚氏(富岡安中支部)が報告しました。

「転職の理由(本人の課題)が解決できるか」をキーワードとして挙げ、面接前に職場体験や見学などを実施し、「事前情報を開示してお互いの理想と現実のギャップを埋めることが大切である」と訴えました。報告後は、各社の採用や人につまづける諸問題をグループ討論で掘り下げていきました。

大石氏は、二十五年間の病院勤務で蓄積された人事・労務の経験をもとに、新卒採用・中途採用で大切にしている視点や面接のノウハウを紹介。新卒採用では「学生生活での気づきが経験値に転換できているか」「将来やりたいことに向け、近づくよう努力しているか」をキーワードとして挙げました。また、中途採用では



新春願掛け例会開催

太田支部1月例会



太田支部では、一月二十二日(木)、冠稲荷神社を会場に、「新春願掛け例会」を開催しました。第一部の祈願では、例年通り参加企業の名前を読み上げて商売繁盛を祈願しました。第二部の新年会では、縁起物を使った料理が並び、新年会のテーブルに色どりを添えました。また、冠稲荷神社の絵馬が全員に配られ、今年の目標を漢字一文字で記入(願掛け)し、各テーブルで込められた思いや

近況報告などを交流。さらに全体発表も行いました。目標の書かれた絵馬は、それぞれが普段目に入る所に保管することで、事あることに見返し、年初の決意を思い出すために使ってもらいと企画されました。祈願での神頼みに加え、自身の目標が書かれた願掛けの絵馬が手元にあることで、その思いを強く意識させ、太田支部会員企業の経営は「うま」く行くことでしょう。

『同友ぐんま(通常号)』 広告募集

【広告料】2万円(一口×6回掲載)
【スペース】縦44mm×横87mm(一口分)

*掲載を希望される場合は、同友会事務局までご連絡をお願いいたします

群馬中小企業家同友会・事務局
TEL 027-232-0001 FAX 027-232-0666

【埼玉同友会会員】



50年分の在庫処分

アウトレットセール開催

モールディング・タイル・ピューラ・他

玉川工場 現地販売

▶ 埼玉県比企郡ときがわ町大字五明 603

☎ 0493-65-2121

受付：平日 10:00 ~ 16:00 (水曜除く)

応募フォーム

来場予約はこちら

tamagawaoutlet@mihasi.co.jp

メールでも24h受付中!



会員たしん

同友会のホームページで
会員検索できます。

【国家試験合格者ら251人をたたえる】

中央カレッジグループ

本県で複数の専門学校を運営する中央カレッジグループ（代表理事長・中島利郎氏／前橋支部所属）は4日、前橋市内のホテルで「高資格・教育成果発表会」を開いた。国家資格に合格したり、検定を取得したりした専門学校生251人をたたえた。

簿記検定1級や応用情報技術者試験、第1種電気工事士試験の合格者が登壇し、代表して合格証書を受け取った。中島慎太郎理事長は「手にした資格や成果は皆さんの努力の結晶。努力を継続し、社会にとって有用な人物になってほしい」と激励した。

専門学校生による研究の成果発表も行われ、駄菓子店向けの販売データ管理システムや、バーチャルアイドルなどについて説明した。

[2 / 5付上毛]

【17中学校にボール】

（株）群馬クレインサンダース

太田市に本拠地を置くプロバスケットボールチーム、群馬クレインサンダース（代表取締役・阿久澤毅氏／太田支部所属）とオフィシャルトップパートナーの佐々木商事（同市東別所町）は、市内の全中学校17校に4個ずつ計68個のバスケットボールを寄贈した。

5日、太田東中で贈呈式が開かれ、サンダースの阿久澤毅社長とチームマスコットのサンダくん、佐々木社長がバスケットボール部員4人にボールを手渡した。阿久澤社長は「部員以外も、皆でバスケをやってほしい」、佐々木社長は「太田から素晴らしいバスケ選手が生まれることを願っている」と述べた。

[2 / 6付上毛]

【社会課題解決へアイデア】

共愛学園前橋国際大学

社会課題の解決に向けた最新技術の活用方法を考えるワークショップの最終発表会が9日、前橋市の共愛学園前橋国際大学（学長・大森昭生氏／前橋支部所属）で開かれた。学生約50人が16グループに分かれ、それぞれのアイデアを説明した。

ワークショップは、同大と本県に拠点を置く太陽誘電が連携して行い、学生は同社の技術や製品の活用案を考えた。においセンサーを利用したクマの検知や、一定以上のストレスを感知した際に自動で通知されるナースコールなどを提案した。

大森学長は「実践と理論の行き来で、とても意義のある学びになっている」と話した。

[2 / 10付上毛]

【健康経営、優良企業に学ぶ】

（株）石井工機

従業員の健康を経営的視点で捉える「健康経営」に理解を深めようと、第1回健康経営サークルが10日、前橋市高井町の群馬ヤクルト販売で開かれた。県内35社の53人が、健康経営優良法人認定企業のノウハウを学びながら交流した。

健康経営を推進したいと考える企業の学びを深め、悩み解決の場を提供するため同社が主催した。

（株）石井工機の石井安美社長（高崎支部所属）が音頭を取り、参加者は乳酸菌飲料で乾杯。眼精疲労や肩こりの軽減につながるストレッチに全員で取り組んだ。

[2 / 11付上毛]

【子ども食堂にサンダーズカップ】

（株）群馬クレインサンダース

太田市に本拠地を置くプロバスケットボールチーム、群馬クレインサンダース（代表取締役・阿久澤毅氏／太田支部所属）とオフィシャルパートナーで、プラスチック製品などを手掛けるRP東プラ（大阪府吹田市）は、チームのロゴ入りカップを製作し、5千個を大泉、邑楽両町の子ども食堂へ寄贈した。

大泉町の寄木戸南公民館で14日に開かれた「よりき子ども食堂」で寄贈式が行われ、サンダースの阿久澤毅社長とRP東プラ太田工場の中野克博事業所長が子ども食堂代表の月橋章さんに贈った。

[2 / 15付上毛]

【社名変更】

（株）ヴィゴラス、代表取締役・荒井孝宣氏（伊勢崎支部所属）では、この度、「（株）V-Assist」に社名変更しました。

【所属支部変更】

（株）Pure Next、代表取締役・塚田純次氏（富岡安中支部所属）は、この度、「渋川吾妻支部」に所属支部を変更しました。

【会員登録変更】

（有）ゼンフーズ、代表取締役・渡辺慎一氏（前橋支部所属）では、この度、「課長・山浦さくら氏」に会員登録を変更しました。

【登録変更】

合同会社ピーチファクトリー、代表社員・小川浩司氏（桐生みどり支部所属）は、この度、「（有）ピーチファクトリー、代表取締役」に登録変更しました。

アルミ精密部品の切削加工メーカー
株式会社 エーピーエム

充実した設備と長年培った確かな技術力で
お客様のご要望にお応えします！

〒373-0847 群馬県太田市西新町103-2
TEL0276-30-4058 FAX0276-30-4059
URL : <http://www.apm-f.com> E-mail : fuse@apm-f.com

面倒な会計業務はお任せを!!

電子帳簿保存法・インボイス制度対応の簡単クラウド会計

統合型クラウド財務管理システム

KEEPERClub

同友会 高崎支部会員 株式会社 シスプラ ☎0120-638-377



第10回 理事会報告

日時 二月三日(火)
※今回も同友会事務所とオンライン併用のハイブリッド開催となりました。

出席者(順不同・敬称略)
正副代表理事/町田、杉崎、佐藤、理事/小坂橋、山崎、提箸、神保、佐藤、齋藤、諏訪、平野、茂原、石井、田村、関口、事務局/阿久澤、竹内(役員計十五名)

【議事】

佐藤副代表理事が議長をつとめ、杉崎代表理事挨拶のもと、第十回理事会開会。

I. 報告連絡事項

1. 各支部・部会・委員会等の案内報告

各組織担当者より、活動報告や今後の計画、依頼事項などがありました。

2. その他

①三月五～六日開催「第五六回中小企業問題全国研究会」in岩

手」の参加案内が町田代表理事よりありました。

②新島学園短期大学・社会人リ養成講座の概要説明と合わせて、各支部への登壇者選任依頼が杉崎代表理事よりありました。

II. 審議・承認事項

1. 第五四回定時総会の開催概要について

第五四回定時総会の開催概要の確認と合わせ、今月末の講師訪問(有エターナルコーポレーション・永岡氏/茨城同友会)について総務会から報告がありました。

2. 二〇二六経営研究集会の企画案について

※この後の意見交換にて

3. 新年度のスローガン・重点方針(案)の検討について

新年度のスローガン・重点方針のたたき台(総務会案)が町田代表理事より提案され、その概要を承認。次回理事会までに

総務会で再検討し、改めて提案されることとなりました。また、部門方針案の検討・作成が各組織担当者に依頼されました。

4. 入退会者承認と仲間づくり推進について

前回理事会以降の入会者三名、退会者六名を承認。会員数は五〇四名となりました。

III. 意見交換・その他

1. 意見交換

二〇二六経営研究集会の企画案が茂原理事(次年度実行委員長候補)より提案され、その内容について率直な意見交換が行われました。尚、今回の意見交換を踏まえ、引き続き実行委員会での内容を検討し、次回以降の理事会で都度、報告・提案することとなりました。

2. 次回理事会の開催確認

次回理事会を左記の通り開催することが確認され、議長は小林副代表理事が担当することになりました。

■日時/三月三日(火)

■会場/同友会事務所

+ ウェブ(併用)

新会員ご紹介

2月度常任理事会承認

会員名簿追加録(順不同・敬称略)

企業名・役職・氏名・生年・所在地・電話・FAX・業務内容・趣味・紹介者

太田支部

(株)シンワルブテック 〒326-0067 栃木県足利市江川町4-10-1



泉 隆 紀
H6年生

TEL: 0284-44-0151

FAX: 0284-41-0343

切削油製造、潤滑油、防錆油、洗浄液販売、小型機械販売・修理、産業廃棄物収集運搬

ギター、サッカー観戦

【紹介者/中島純貴】

足利市で切削油を中心とした工業油剤の製造・販売を行っております。同友会での学びと交流を通じて、経営の実践を深めていきたいと考えております。よろしくお願ひいたします。

(一社)徳栄会

〒373-0015 太田市東新町72-2



川 田 直 嗣
代表理事
S60年生

TEL: 0276-61-3095

FAX: 0276-55-4854

障害福祉サービス(就労継続支援A型・B型事業所)

ジョギング、アウトドア

【紹介者/中島純貴】

太田市で製造業を強みとした、就労継続支援A型・B型を運営しております。自動車部品や化粧品関連の製造を通じて、地域社会との連携を大切に活動しています。これから様々な研修と実践をしていきたいと考えております。宜しくお願ひいたします。

太田支部

環境を思う、未来を想う あらためて誓う 上武印刷

優れた環境適応性。
より高精細で美しい仕上がり

「水なし印刷」システム

「水なし印刷」は、湿し水を使用せず有害な廃液を0にし、その結果CO₂を削減します。環境への負荷が格段に少ない印刷システムです。

ムダな廃棄物を出さない。
必要な時に必要な部数を

オンデマンド印刷

オンデマンド印刷は、「必要な時、必要なだけ」の印刷でムダがなく、環境面で優れています。また、印刷コストを抑え、納期も短縮できます。

私たちは、環境にも、お客様にもやさしい企業を目指します。

群馬県環境GS認定事業所



上武印刷株式会社

〒370-0015 高崎市島野町890-25

TEL 027(352)7445(代)
FAX 027(352)2953(営業)

E-mail eigyo@jp-t.co.jp
URL http://www.jp-t.co.jp/

